

統一論題「流通とTPP」

座長：大石芳裕（明治大学） 野見山敏雄（東京農工大学）

2013年3月15日、安倍晋三首相がTPP（環太平洋経済連携協定）交渉に参加すると正式に表明し、TPP問題は新たなステージに入った。これに伴い、内閣官房は同日「関税撤廃した場合の経済効果についての政府統一試算」を発表し、それまで省庁によってバラバラだった「経済効果試算」を統一した。①関税撤廃の効果のみを対象とし、②関税は全て即時撤廃され则认为、③追加的な対策を計算に入れない、という仮定に基づく、輸出が2.6兆円増え、輸入も2.9兆円増える（マイナス）。消費が3.0兆円増加し、投資も0.5兆円増える。差し引き日本のGDPは3.2兆円、0.66%増加すると見積もっている。

ただし、海外からの安い農林水産物が輸入されるようになり、国内農林水産物生産額は3.0兆円減少し、カロリーベースの食料自給率も現在の40%前後から27%に落ち込む見通しである。また、農業の多面的機能の喪失額は1.5兆円と試算されている。

この試算に対しては、試算方法のGTAP（Global Trade Analysis Project）モデルが最新の研究成果（例えば資源移動による生産性向上）を取り込んでおらずGDPの増加額を過少に見積もっているという批判がある。PECC（太平洋経済協力会議）の年次報告書2012-2013でTPPの経済効果を試算した米ブランダイス大学のP.ペトリ教授は、日本のマクロ的な所得効果は1050億ドル（約10兆円）でGDPの2.0%程度に相当するとしている。一方、農林水産業に関しては対象となる範囲の狭さや、関連産業や雇用への影響が考慮されていないという批判がある。試算対象となるのは関税率10%以上かつ国内生産額10億円以上の33品目（農産物19品目、林水産物14品目）だけであり、減少額3.0兆円は前回の試算4.5兆円より大幅に少なくなっている。

このような見解の相違から、経団連や日本商工会議所、日本自動車工業会、日本電機工業会、全国中小企業団体中央会、日本貿易会、日本フランチャイズチェーン協会などはTPPに賛成し、全国農業協同組合中央会、全国農業会議所、中央畜産会、日本乳業協会などの乳業団体、全国製粉協議会、精糖工業会、全国漁業協同組合連合会、林産物貿易対策全国協議会などは反対している。日本生活協同組合連合会や日本労働組合総連合会、全国消費者団体連絡会などはより詳細な情報開示を求め、無制限の関税撤廃などに対してはより慎重な対応を求めている。

TPPの影響はそれだけにとどまらない。米国を含む11カ国の経済連携参加ということで、他の自由貿易交渉にも影響を及ぼすだろう。日中韓FTAや日欧EPA、RCEP（東アジア地域包括的経済連携）あるいはFTAAP（アジア太平洋自由貿易圏）などの推進にプラスに働くので

はないかと推測されている。とりわけ様々な制約を設けているがゆえに TPP には参加しづらい中国が、米国に対抗して別な自由貿易圏を強く推進することが予想される。企業の国際経営戦略や SCM (サプライチェーン・マネジメント) にも影響が大きいし、国内に留まる企業においても調達や販売において影響が及ぶ。他方、混合診療解禁による国民皆保険の崩壊危機 (日本医師会や日本歯科医師会などはこれを理由に反対) や ISDS (Investor State Dispute Settlement) 条項による裁判の頻発、遺伝子組み換え食品の表示問題、ゆうちょ銀行とかんぽ生命保険の事業拡大抑制 (米国保険の乱入)、著作権や商標権などに関する不利益なども懸念されている。

D. リカードの比較生産費説が先進国と後進国の貿易の成立を労働の節約で説明したものの、双方が比較優位にある産業に特化することは後進国におけるモノカルチャー化という弊害をもたらすことになる。そこで F. リスト (後進国ドイツ) は、自由貿易を唱える A. スミス (先進国イギリス) の見解に反論し、保護貿易を唱えることになる。しかしながら、1930 年代の保護主義 (ブロック経済) が第 2 次世界大戦を引き起こしたことから、戦後は自由貿易を志向するブレトンウッズ (GATT/IMF) 体制が確立した。GATT をさらに推し進めるべく WTO が 1995 年に設立されたものの、多国間交渉はなかなか進展せず二国間 FTA/EPA や少数国家間の連携が模索されるようになったのである。TPP もその延長戦上にあるが、リカードやリスト、スミスの時代とは異なり、先進国と後進国間の関係、あるいは先進国間・後進国間の関係は一義的ではなく、極めて輻輳している。それだけに「流通と TPP」という統一論題で、国内外の流通に TPP が及ぼす影響を科学的に分析することは日本流通学会として重要な意義があるものと思われる。

以上